

お手植松

おてうえまつ

(誤)

園内には皇族の方々がお手植えされた松が 6 本あります。檜御殿跡近くにあるのが秩父宮殿下、高松宮殿下、英国エドワードアルバート王太子殿下、良子女王殿下、北白川宮王妃殿下が植樹された 5 本。掬月亭の南には、明治 36(1903)年に当時皇太子だった大正天皇がお手植えされた松があります。



お手植松

おてうえまつ

(正)

園内には皇室の方々がお手植えされた松が 6 本あります。檜御殿跡近くにあるのが昭和天皇(皇太子のとき)、秩父宮殿下、高松宮殿下、英国エドワード 8 世(皇太子のとき)、北白川宮王妃殿下が植樹された 5 本。掬月亭の南には、明治 36(1903)年に当時皇太子だった大正天皇がお手植えされた松があります。

皇族ゆかりのお手植松

(誤)

明治末期から大正にかけて、栗林公園には多くの皇族関係の方が来園されています。中でも大正天皇は皇太子の時に掬月亭に4連泊されており、その際お手植えになった松が掬月亭の南側にあります。また、商工奨励館西側には、秩父宮殿下や高松宮殿下など皇族方のお手植松が4本と、英国エドワード・アルバート王太子(後の英国エドワード8世)のお手植え松があります。その一番右側には、昭和天皇が皇太子時代にお手植えになった松がありましたが、平成16年、落雷により枯死と診断され伐採されました。



皇室ゆかりのお手植松

(正)

明治末期から大正にかけて、栗林公園には多くの皇室関係の方が来園されています。中でも大正天皇は皇太子の時に掬月亭に4連泊されており、その際お手植えになった松が掬月亭の南側にあります。また、商工奨励館西側には、昭和天皇(皇太子のとき)、雍仁親王(秩父宮)、宣仁親王(高松宮)能久親王妃富子さま(北白川宮)がお手植えされた松が4本と、英国エドワード8世(皇太子のとき)のお手植え松があります。その一番右側には香淳皇后(良子女王殿下のとき)がお手植えになった松がありましたが、平成16年、落雷により枯死と診断され伐採されました。

大正～昭和時代 (5 行目)

(誤) 大正 12(1923)年 5 月 | 久邇宮殿下、同妃殿下がご来園になり、松をお手植えされる。



(正) 大正 12(1923)年 5 月 | 香淳皇后(当時良子女王殿下)がご来園になり、松をお手植えされる。